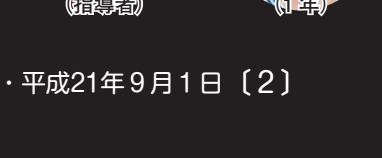




7/31 ~ 8/2
全国高校総合文化祭
=三重県伊賀市=

葛巻高校郷土芸能部

member & staff
メンバー・スタッフ



最高の出来 自信と誇りに 全国で堂々の舞

「全力を出し切った」
葛巻高校郷土芸能部の11人は、全国の晴れ舞台で葛巻神楽「権現舞」を力強く舞い終え、息を弾ませた。

三重県伊賀市で7月31日から8月2日まで繰り広げられた、第33回全国高等学校総合文化祭・郷土芸能部門に葛巻高校は創部13年目で悲願の出場を果たし、全国に郷土・葛巻をアピールした。

「ここまで来たことがすごい。あとは大きく息を吸って、堂々と舞ってください」と鈴木重男町長が舞台袖で出番前のメンバーを激励。「郷土芸能部に入って良かったと思える舞を」「みんななら出来る。遠くから応援しています」「後輩のがんばっている姿は、先輩として誇りです」と卒業生から続々とメールで寄せられたメッセージを胸に全員が円陣を組んで「決めるぞー」と心を合わせた。

町から駆けつけた家族や中崎和久町議会議長ほか議員など約30人の応援団が声援を送る中、葛巻高校は、最終日のトップバッターで登場。「この日のために」と厳しい練習を積んで臨んだ舞台で、獅子頭をかぶり獅子の荒々しさを11人の息もピッタリと合わせて舞った。昨年10月の県大会で最優秀賞、全国行きを決めた卒業生4人のうち会場入りした3人も拍手を送り続けた。

「今日は最高の出来」と指導した神楽保存会の遠藤勝広さんとトミエさん夫婦は演技を終えたメンバーを出迎えた。「入賞には手が届かなかったけれど、力を合わせて最高の演技ができた。この大きな経験が胸にさらにかんざります」と橋場綾部長は全国の舞台に立った夢の実現をかみしめながら、さらなる飛躍を誓った。

①初の全国舞台で「権現舞」を舞う葛巻高校郷土芸能部。町民などから寄せられた厚意で新調された獅子頭や衣装で晴れ舞台を踏む ②息もピッタリ。15分の舞の後は体力の消耗が激しい ③本番に向けて体をほぐす舞い手の千葉睦君 ④「思いっきり舞うぞー」と心をひとつに ⑤伊賀市文化会館に駆け付け、わが子の登場を待つ家族ら ⑥「ありがとうございました」とお礼を述べ演技終了。激しい舞の後、吹き出る汗と荒々しい呼吸が続く ⑦出演後、会場前で駆け付けた応援団や関係者全員で「よくやった。お疲れさま」と記念撮影

